



まいにちかいえん
~毎日開園 だれでも気軽に來られる動物園~

2013年11月号
No. 19

ずー ZOOっといっしょ

今月のニュース!

○フラミンゴとカンガルーの赤ちゃんが大きくなりました!!

今年の夏に生まれた6羽のフラミンゴの赤ちゃんたちはずいぶん大きくなりました。まだ、体全体の羽の色がピンク色にはなっていませんが、羽の内側から少しずつピンク色に変わってきています。体全体がピンク色になるまで一年以上かかりますので、まだまだ時間がかかりそうです。

また7月に顔を出したカンガルーの赤ちゃんですが、お母さんの袋から出ている時間も長くなり、一人で行動するようになりました。2頭の赤ちゃんですが、モナカ♀の赤ちゃんは女の子で名前は「アズキ」、ダーウィン♀の赤ちゃんは男の子で名前は「ダイキチ」に決まりました!!



○マーラのこどもが旅立ちました!!

今年の1月12日に生まれたマーラのこども、♂のカイがお婿さんとして10月21日に静岡県にある「伊豆シャボテン公園」に旅立ちました。新天地で活躍する姿をぜひ見に行ってください。

○園内の樹木たちが紅葉し始めています。

桐生が岡動物園には、モミジやケヤキなどたくさんのお木があります。10月中旬から少しずつ、葉の色が赤く色づいてきました。この時期しか撮影できない紅葉した樹木と動物と一緒に撮るのはいかがでしょうか?



60周年イベント情報

11月は2つのイベントがあります。時間や内容をチェックして来てね!!

どうぶつクイズラリー

11月3日(日)

動物園内を巡って、16問の動物にまつわるクイズを解いていただきます。

午前と午後の2回行います。どなたでもご参加いただけますが、各回先着150名になります。参加された方には参加賞があります。

| | | | |
|------|-------|-------------|----------|
| 午前の部 | 受付 | 10:30~11:00 | フラミンゴ前広場 |
| | 答え合わせ | 12:00 | 南門女神像前広場 |
| 午後の部 | 受付 | 13:30~14:00 | フラミンゴ前広場 |
| | 答え合わせ | 15:00 | 南門女神像前広場 |



工作教室

11月17日(日)

動物の毛や羽を使って、かわいいストラップやキーホルダーなどを作ることができます。午前と午後の2回、参加料は無料でどなたでもご参加いただけます。各回とも定員は100名になります。

| | | | | |
|------|-----------------------|-------------|------|-------------|
| 開催時間 | 午前の部 | 10:00~11:00 | 午後の部 | 14:00~15:00 |
| 場所 | フラミンゴ前広場 (雨天の場合: 遊鳳舎) | | | |

今回は3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

ハリセンボンは本当に針千本？！

桐生が岡動物園の水族館にはとってもかわいらしいお魚、ハリセンボンがいます。名前のとおり本当に体の針は千本あるのでしょうか？いいえ！実はハリセンボンはフグ目ハリセンボン科の魚で、針はうろこが変化したもので、350本前後しかないと言われていています。危険を感じると体をボールのようにまるくふくらませて針をめいっぱい立てていかくするのです。その姿がたくさんの針が立っていて千本もあるように見えたので、この名前になったのでしょうか。ちなみに英名ではBallon Porcupinefish(風船ヤマアラシ)といますが、

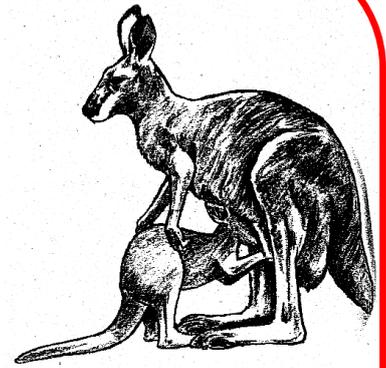


まるでヤマアラシを風船にしたように見えることからついたのでしょうか。

みなさんも実際に水族館でハリセンボンの針を観察してみてくださいね！！

オオカンガルーの子育て

オオカンガルーのダーウィンとモナカの2頭の♀は初めての子育てをしています。2頭とも赤ちゃんをととても大切に育てています。赤ちゃんが袋の中にいた頃から袋の中に顔を入れて赤ちゃんの排泄物をなめてあげたり、袋内のおそうじを念入りに行っていました。赤ちゃんが袋の外に出るようになってからも、必ずそばにいて、何か危険を感じると「クククッ」と鳴いて赤ちゃんを呼び、袋に入りなさいと言っているようです。



このようにいつも一緒にいたのですが、最近は赤ちゃんが大きくなってきたからか、常にそばにいてもなくなってきました。赤ちゃんが袋に入れたように顔を入れても、「今はダメ」と言っているように、入れなかつたりもします。

でも、袋の中にあるおっぱいはしっかりあげています。おっぱいは1歳6カ月くらいまで飲むようです。まだまだ甘えん坊の子どもの育児は続きます。2頭の素晴らしいお母さんぶりと親子の愛らしい姿をぜひ見てください！

国鳥

国鳥とはその国を代表・象徴する鳥のことを言います。

では、日本の国鳥をご存じでしょうか？

トキやタンチョウと思っている人も多いのではないのでしょうか。正解は「キジ」です。桐生が岡動物園では他にも、インドの国鳥であるインドクジャク、ウガンダの国鳥であるホオジロカンムリヅルを飼育しています。

いろいろな国の国鳥を観察に来てください！違った視線で動物を見ることが出来ますよ！

